

第 49 回北海道学生陸上競技選手権大会

新型コロナウイルス感染症対策

本大会は、感染拡大防止のため「無観客」で開催する。

※陸上競技は観客のコントロールが難しいので、感染症対策の観点から、参加校の一般教職員、一般生徒、一般観客（保護者含む）はスタンドを含む会場への入場を禁止する。

1. 会場への入場を認める者

- (1) 陸上競技部員・審判員・補助員・参加校の陸上部顧問（外部指導者を含む）・北海道学生陸上競技連盟から入場を許可された者（報道関係者）
- (2) (1)に該当する者のうち、以下の事項に該当する者は会場への入場を許可しない。
 - ① 体調管理チェック表（日本陸上競技連盟発行）を提出していない。
 - ② 提出したチェックシートのうちいずれかの項目に○がついている。
 - ③ 大会当日朝、風の諸症状（咳・咽頭痛・平熱を超える発熱等）による体調不良の者。
 - ④ 同居家族や知人・友人に感染が疑われる人がいる場合
 - ⑤ 過去 14 日間以内に政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域等への渡航歴又は当該居住者との濃厚接触がある者。

2. チェックシートについて

日本陸上競技連盟、日本学生陸上競技連合それぞれから異なるシートに記入が求められている。また、それぞれ大会前用、大会後用があるので合計 4 枚ある。

※各チェックシートに書かれた個人情報の管理についてはそれぞれのシートに書かれた注意事項に基づく。

○日本陸上競技連盟のチェックシートについて

・大会前用：大会 1 週間前からシートに記入をし、代表者がまとめて競技場入場時に受付まで提出する。提出が完了し許可されるまで、競技場への入場は許可しない。この書面は北海道学生陸上競技連盟で保管する。

・大会後用：大会終了後 2 週間、シートに記入すること。各自で保管する。

○日本学生陸上競技連合のチェックシートについて

・大会前用、大会後用：大会2週間前から大会終了後2週間までの間、それぞれのシートに必要事項を記入し、大学単位で保管する。弊連盟に提出する必要はないが、**必ず記入すること**。本大会に於いて新型コロナウイルス感染のクラスターが発生した場合に、感染者追跡調査に協力するために、収集した書面を各都道府県保健所、厚生労働省等に提出することがあり、各学校に対して関係各機関から追跡調査のための個人情報の提出を求められた場合には、保管していた書面の提出に協力すること。

3. 感染防止について

- (1)各自必ず朝の検温を行い、平熱を超える発熱等がある場合は来場及び大会参加を控える。
- (2)会場入場者は全員必ずマスクを着用する。ただし、出場選手のウォーミングアップ時、競技中は除く。なお、高温下でのマスク着用の際は熱中症予防の観点から人との間隔（2m以上）をとれる場合は、必要に応じてマスクをはずし、こまめな水分補給を心掛ける。
- (3)各校、アルコール消毒液・ポンプ式石鹸を準備し、いつでも部員が使える状態にする。
（こまめな手洗いの励行）
- (4)来場者はマイタオルを準備し、マイタオルの使用を徹底する。
- (5)各校の選手控え用テントは設置しても構わないが、設置時は横幕を解放し風通しの良い状態を保つ。雨天等で横幕を下さなければならない場合は、30分おきに5分程度テント内の一斉換気を行う。
- (6)スタンドの空いているスペースを有効に活用し、テント内が密にならないように工夫すること。
- (7)**集団での応援、メガホンを使用しての声援は禁止する。なお、個人での声援も禁止とする。**
- (8)器具を触った手で顔（特に口、鼻、目）に触れず、競技終了後速やかに入念な手洗い、アルコール消毒を行う。
- (9)素手での「ハイタッチ」「握手」「肩を組む」など、競技以外での身体接触は避ける。また、ミーティング等も短時間で行い、密にならないようにする。
- (10)会場内のゴミ箱は使用禁止とし、ゴミの持ち帰りを徹底する。
- (11)大会終了後、体調管理チェックシートの記入を徹底し、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに北海道学生陸上競技連盟まで連絡すること。
- (12)3密を避けるため開門するまでゲートの前には集まらないこと。